

徳島大学大学院保健科学教育部保健学専攻（博士前期課程） 学位論文審査基準

博士前期課程の学位論文は、次に掲げる点を総合的に評価する。審査対象者が保健科学の分野において、研究者として研究活動を行い、又は専門的な業務に従事するために必要な倫理観、技術力、研究能力及びその基礎となる豊かな学識を有していると認められる場合に合格とする。

- ① 研究テーマ・問題設定の妥当性
より良い保健・医療を推進するための解決すべき新しい研究テーマであり、適切に先行研究と関連づけつつ、学術的及び社会的意義があることが明確にされていること
- ② 研究方法の妥当性
研究テーマ及び問題設定に対してふさわしい研究方法であること
- ③ 結論の妥当性
結論が研究目的若しくは仮説にそって、論理的且つ明確に導出されていること
- ④ 独創性（オリジナリティ）
研究テーマ及び問題設定、分析方法、結論等に注目すべき独創性が認められること
- ⑤ 社会又は学会等への貢献
保健・医療の発展に寄与することが期待され、又は当該研究領域の発展に貢献する学術的価値が認められること
- ⑥ 総合力
高度に専門的な業務に従事するために必要な倫理観、技術力、研究能力及びその基礎となる豊かな学識を有すると認められ、保健科学分野において指導的役割を果たすことができること

徳島大学大学院保健科学教育部保健学専攻（博士後期課程） 学位論文審査基準

博士後期課程の学位論文は、次に掲げる点を総合的に評価する。審査対象者が保健科学の分野において、研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するために必要な高い倫理観、高度な技術力と実践的な研究能力、並びに先進的で豊かな学識を有していると認められる場合に合格とする。

- ① 研究テーマ・問題設定の妥当性
より良い保健・医療を推進するための解決すべき新しい研究テーマであり、適切に先行研究と関連づけつつ、学術的及び社会的意義があることが明確にされていること
- ② 研究方法の妥当性
研究テーマ及び問題設定に対してふさわしい研究方法であること
- ③ 結論の妥当性
結論が研究目的若しくは仮説にそって、論理的且つ明確に導出されていること
- ④ 独創性（オリジナリティ）
研究テーマを領域横断的な視点から自ら設定し、問題設定、分析方法、結論等において、保健科学の新しい研究領域を切り拓く独創性と革新性が認められること
- ⑤ 社会又は学会等への貢献
保健・医療の発展に寄与することが期待され、又は当該研究領域の発展に貢献する学術的価値が認められること
- ⑥ 総合力
高度に専門的な業務に従事するために必要な高い倫理観、高度な技術力と実践的な研究能力並びに先進的で豊かな学識を有すると認められ、研究のマネジメントができ、研究者として自立して研究活動を行うことができること

徳島大学大学院保健科学教育部保健学専攻（博士後期課程）学位論文提出基準

課 程 博 士	論 文 博 士
<p>(博士論文の条件)</p> <p>① 発行機関の審査を経て学術雑誌に公開されたもの又は提出の日から1年以内に公開予定であることが証明されたもの。</p> <p>② 共著論文である場合には、提出者が筆頭著者であり、かつ、共著者の承諾を得たものでなければならない。この場合において、当該論文が過去において、博士論文として使用されていないものであり、将来においても博士論文として他に使用しないものでなければならない。</p> <p>③ 論文内容要旨 和文約1,000字</p>	<p>徳島大学大学院保健科学教育部学位規則実施細則に定める条件に加えて、次の条件を満たすこと。</p> <p>① 学位審査申請日までの10年間に、英文の学術雑誌に筆頭著者で2報以上、原著論文が掲載受理されていること。</p> <p>② 徳島大学大学院保健科学教育部博士論文博士号取得に係る外国語試験(英語)実施に係る申合せの合格基準に達していること。</p> <p>③ 課程博士の規定を準用。</p> <p>④ 論文内容要旨 和文約1,500字</p>

授業科目名	単位数	6単位
助産学特別研究	必修・選択の別	必修
<p>概要</p> <p>助産実践の改善と発展を目的に、実践上の問題や課題を明らかにし、その問題を研究課題として発展させ、研究プロセスに沿って研究を遂行し論文を作成する。</p>		
<p>助産学特別研究 6 単位の評価</p> <p>助産学（実践コース）を選択し、必要な科目を履修した学生に対して、特定の課題についての研究の成果としての課題論文に関する審査を行う。</p> <p>課題論文に関する審査基準</p> <p>学位規程に基づき、学生1名ごとに指導教員を含む3名の審査委員会が構成され、課題論文としての審査と最終試験を行う。その結果は、研究科教授会議に報告されて、学位を授与すべきか否かが議決される。</p> <p>◆助産研究 6 単位：特定の課題についての研究の成果(課題論文) 審査基準</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 助産・看護実践の質向上につながる研究テーマである。 (2) 文献検討が十分に行われ、かつその結果が適切に活用されている。 (3) 適切な研究方法を用いている。 (4) データ収集ができている。 (5) データを適切に分析できている。 (6) 助産・看護実践の質向上に資する結果が得られている。 (7) 論文の形式が適切であり、論理が明確な文章である。 		